

シーニックバイウェイ北海道 推進協議会 意見

■シーニックバイウェイルート

「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」に対する意見

○ 優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性について

札幌という大都市景観に加え、郊外部の農村景観、滝野すずらん丘陵公園、札幌市民の心のオアシスである藻岩山、清流・豊平川に沿った景観、奥座敷・定山溪温泉の佇まい、中山峠や支笏湖へ至る山間の道など、大都市の直近にこれだけ豊かで、多様性に優れた景観資源を持っていることは、「世界に通用する」という自信をもってよいほどである。

定山溪温泉、全国ブランドとなっているオリンピック記念公園と施設、及びそれを利用して展開されている各種のイベントやレクリエーション活動などにも優れている。さらには、エドウィンダンや札幌軟石の存在など歴史性や音楽、彫刻などの芸術を気軽に楽しめる環境と雰囲気にも恵まれていることも優位性の一つである。まさに、世界都市・札幌の具体的な姿を体験し、五感で感じる事が出来る資源を持っている。

また、新千歳空港から近く、大都市札幌の一部であるということ、支笏洞爺ニセコルートと近接しているという地理的な資源もある。

今後とも、本ルートが有している、これらの優れた地域資源を意識しながら、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」へ、より一層活用されることに期待している。

○ 景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化について

自然資源を活用した周遊プランなどが良く工夫されているとともに、地域資源の発掘や景観診断、住民の手からなるフラワーロードなど、活動団体の取組自身や札幌市との連携が、景観の資源の向上に役立っている。

ただし、本ルートの光景、風景、情景といった景観が、世界に通じ、「世界都市さっぽろ」、「環境首都・札幌」、「創造都市さっぽろ」を体感できる可能性を有していることから、さらにグローバルな視点からの資源の活用を期待したい。

さらには、ツーリズムの質の向上が地域経済の活性化に直結することなどを意識しながら、活動を通じて地域にメリットが出てくるような視点や工夫も、継続的に活動を行うためには必要である。たとえば、札幌に来て、大体は札幌中心部で帰ってしまう道外の方を、わざわざこのルートまで引っ張るためには、テーマをもたせた情報づくりやその発信を積極的に行っていくべきである。

そのため、今後は、推進協議会や行政連絡会議との協働のもと、大都市札幌全体を視野に入れながら、札幌シーニックバイウェイの先達としての先進的な活動と連携の強化に注力いただきたい。また、大学や姉妹都市など世界に通じる地域・組織との連携、それらの複合による主導的な活動を広げていくことについても期待したい。